

PC用語の基礎 10選

用語	説明	具体例
① デスクトップ	パソコン起動時に最初に表示される画面	家の机のように、作業に必要なものを置いておく場所。 - アイコン: アプリケーション、ファイル、フォルダへのショートカットを置く。 - 壁紙: 自分の好きな写真や画像を設定して、画面をカスタマイズできる。 - ウィジェット: 天気予報やニュースなどの情報を表示する小さなアプリケーションを配置できる。
② カーソル	マウスの動きに合わせて画面上を動く矢印 (または他の形状)	画面上の操作したい場所を指し示すポインター。 - クリック: カーソルを合わせてマウスのボタンを押す操作。 - ダブルクリック: 短い間隔でクリックを2回行う操作。 - ドラッグ&ドロップ: マウスのボタンを押したままカーソルを移動し、ボタンを離す操作。
③ スタートボタン	画面左下のWindowsロゴマークのボタン	パソコンの操作の起点となるボタン。 - スタートメニュー: アプリケーションの一覧、設定、電源操作などが表示される。 - 検索ボックス: アプリケーションやファイル、設定などをキーワードで検索できる。
④ アプリケーション	パソコンで特定の作業を行うためのソフトウェア	「アプリ」とも呼ばれる。 - ワードプロセッサ: ワードで文書作成。 - 表計算ソフト: エクセルでデータ分析やグラフ作成。 - Webブラウザ: ChromeやEdgeでインターネットを閲覧。 - メールソフト: Outlookでメールの送受信。
⑤ アイコン	アプリケーション、ファイル、フォルダなどを表す小さな絵	視覚的にわかりやすく、操作を簡単にする。 - アプリケーションアイコン: ダブルクリックでアプリケーションを起動。 - ファイルアイコン: ダブルクリックでファイルを開く。 - フォルダアイコン: ダブルクリックでフォルダを開く。
⑥ タスクバー	画面下部の細長いバー	現在開いているウィンドウや起動中のアプリケーションを管理。 - アプリケーションの切り替え: タスクバー上のアイコンをクリックして、簡単に切り替えられる。 - 通知エリア: 音量調整、ネットワーク接続、時計などが表示される。
⑦ エクスプローラー	パソコン内のファイルやフォルダを管理するためのアプリケーション	パソコン内のデータの整理整頓を行う。 - ファイルの表示: リストやアイコンで表示。 - ファイル操作: コピー、移動、削除、名前の変更など。 - 検索機能: ファイル名やキーワードでファイルを検索。
⑧ ウィンドウ	アプリケーションやファイルを開いた時に表示される四角い枠	アプリケーションの操作やファイルの閲覧を行うための領域。 - タイトルバー: ウィンドウ上部に表示され、ウィンドウのタイトルや操作ボタンがある。 - メニューバー: ファイル、編集、表示などのメニューが表示される。 - スクロールバー: ウィンドウ内に表示しきれない内容をスクロールするためのバー。
⑨ ファイル	パソコンに保存されているデータ	様々な種類の情報が保存されている。 - 文書ファイル: レポート、手紙、小説など。 - 画像ファイル: 写真、イラストなど。 - 動画ファイル: 映画、アニメなど。 - 音楽ファイル: 楽曲、音声データなど。
⑩ フォルダ	ファイルを整理するための入れ物	書類を整理するためのファイルボックスのようなもの。 - 階層構造: フォルダの中にフォルダを作って、ファイルを整理できる。 - ライブラリ: ドキュメント、画像、ミュージックなどのフォルダをまとめて管理できる機能。